

注) 目安のために枠線が書かれていますが、実際の原稿には必要ありません。

日本語タイトル(12ポイントの明朝体でお書き下さい)

(20mmの余白)

(20mmの余白)

English Title (Please use 12 pt. Times fonts.)

(成形大) ○(正)成形太郎、(学)分子孝三

This paper deals with an innovative polymer processing -----  
--- (できる限り100~200 words程度の英文概要をお書き下さい。ただし3~5 words程度の英文キーワードは必ずお書き下さい。文字の大きさは10ポイント、TimesまたはTimes New Romanフォントをお奨めします。) -----

Keywords: Please list 3 - 5 keywords for foreign participants.

1. 緒言

近年のプラスチック成形加工では、-----  
--- (書体は明朝体[英文はTimes]、文字-----  
--- の大きさは10ポイント、1ページの行数は-----  
--- 45~50行程度、総ページ数は2また-----  
--- は4ページです。それ以外のページ数-----  
--- の原稿は予稿集に掲載できない場合が-----  
--- あります。)-----

2. 実験手法の概略

2.1 実験装置の特徴

本報告における実験では、-----  
-----

3. 計算手法の概略

3.1 支配方程式の離散化

本報告における計算では、-----

図表の脚注は、できる限り  
英文でお書き下さい

Fig.1 Experimental setup used in this study.

Tarou SEIKEI\* and Kouzou BUNSHI  
Department of Chemical Engineering,  
Seikei University  
\* 1-1-1 Seikei, Shibuya-ku, Tokyo, JAPAN 123-4567  
Tel: 03-1234-5678, Fax: 03-1234-6789  
E-mail: seikei@chem.seikei.ac.jp

$$S = a + b(c + d) \quad (1)$$

ただし、-----  
-----

4. 結果および考察

Fig.1に示されるように、-----  
-----

5. 結言

以上の検討より、-----  
-----

参考文献

- 1) 成形太郎: 成形加工, **1**, 10(1988)
- 2) Tarou Seikei, Jirou Kakou and Sukio Kanagata: *Polymer Engineering and Science*, **31**, 20(1991)

Table 1 Material properties used in this study.

図表の脚注は、できる限り  
英文でお書き下さい

上下左右の余白は25mmとして下さい。

1ページ目の左下部に上記を参考に  
英文で氏名/所属/連絡先をお書き下さい。

プラスチック成形加工学会 原稿見本

プラスチック成形加工学会 原稿見本

段余白は8mm